

検査項目名	略称	基準範囲			説明
		男性	女性	単位	
<b>肝臓・胆嚢・膵臓に関する検査</b>					
総蛋白	TP	6.6-8.1		g/dL	栄養状態、肝・腎障害などの指標です。
アルブミン	Alb	4.1-5.1		g/dL	栄養状態の悪化や肝・腎障害の程度を反映して低下します。
A/G比	A/G	1.32-2.23			アルブミンとグロブリンの成分比。免疫疾患などの病態把握に用いられます。
ALBI score		設定なし			アルブミンと総ビリルビン値から計算される数値で、肝予備能の評価に用いられます。
Fib-4 index		設定なし			AST、ALT、血小板数、年齢から計算される数値で、肝線維化の評価に用いられます。
総ビリルビン	T-Bil	0.2-1.2		mg/dL	黄疸の有無、程度の判定に用います。
直接ビリルビン	D-Bil	0.0-0.4		mg/dL	肝細胞障害、胆汁うっ滞で高値になります。
アスパラギン酸 アミノトランスフェラーゼ	AST	13-30		U/L	肝細胞、筋肉、赤血球の障害の指標です。
アラニン アミノトランスフェラーゼ	ALT	10-42	7-23	U/L	肝細胞が障害されると高値になります。
乳酸脱水素酵素 (IFCC法)	LD_IFCC	124-222		U/L	肝臓・心臓など様々な臓器の障害の指標です。
アルカリフォスファターゼ (IFCC法)	ALP_IFCC	38-113 (21歳以上) 20歳以下は年齢別に設定しています		U/L	肝胆道系疾患、骨疾患、妊娠などで上昇します。
ガンマグルタミル トランスフェラーゼ	γ-GT	13-64	9-32	U/L	アルコール性肝障害、胆道系疾患、肝内胆汁うっ滞などで高値になります。
コリンエステラーゼ	CHE	240-486	201-421	U/L	主に肝疾患により低下し、有機リン中毒でも低値となります。
アミラーゼ	AMY	44-132		U/L	主に膵臓・唾液腺の障害を反映します。
アンモニア		12-66		μg/dL	主に肝臓でのアンモニアの代謝障害で上昇します。
インドシアニングリーン試験	ICG	【15分値】 0.00~0.10		mg/dL	肝臓の解毒能力がわかります。

検査項目名	略称	基準範囲			説明
		男性	女性	単位	
<b>腎臓に関する検査</b>					
尿素窒素	UN	8-20		mg/dL	腎機能の指標です。
尿酸	UA	3.7-7.0	2.6-7.0	mg/dL	腎障害、痛風などで高値になります。
クレアチニン	CRE	0.65-1.07	0.46-0.79	mg/dL	腎機能の指標です。
クレアチニークリアランス (内因性)	Ccr	93.0-238.0		L/day	腎機能の指標です。
推算GFR (糸球体濾過値)	eGFR	設定なし		mL/min/ 1.73m <sup>2</sup>	腎機能(糸球体濾過量)の推定と慢性腎臓 (CKD)のstage分類に用います。
β2ミクログロブリン	β2MG	2.0 以下		μg/mL	腎機能障害(糸球体濾過量の低下)の指標です。
ナトリウム	Na	138-145		mmol/L	Na・水代謝異常の指標です。
カリウム	K	3.6-4.8		mmol/L	神経伝達や筋収縮に関与し、生命活動に維持調節 に重要な電解質です。
クロール(塩素)	Cl	101-108		mmol/L	酸塩基平衡障害の指標です。
カルシウム	Ca	8.8-10.1		mg/dL	骨・腎臓・副甲状腺の指標です。
無機リン	IP	2.7-4.6		mg/dL	
マグネシウム	Mg	1.6-2.6		mg/dL	腎臓や甲状腺機能の指標です。
血清浸透圧	OSM	284-294		mOsm/L	Na・水代謝異常の指標です。
<b>金属・鉄代謝に関する検査</b>					
血清鉄	Fe	64-187	40-162	μg/dL	貧血の原因疾患の鑑別や肝臓障害の指標です。
不飽和鉄結合能	UIBC	104-259	108-325	μg/dL	貧血の原因疾患の鑑別の指標です。
総鉄結合能	TIBC	253-365	246-410	μg/dL	
フェリチン		39.9-465.0	6.2-138.0	ng/mL	組織の貯蔵鉄量を反映する指標です。
亜鉛		80-130		μg/dL	亜鉛の欠乏や中毒の診断(味覚障害など)に用い ます。

検査項目名	略称	基準範囲			説明
		男性	女性	単位	
<b>脂質・糖代謝に関する検査</b>					
総コレステロール	T-Cho	142-248		mg/dL	高脂血症・動脈硬化などで高値になります。
HDL-コレステロール	H-Cho	40-90	40-103	mg/dL	いわゆる「善玉コレステロール」抗動脈硬化作用をもっています。
LDL-コレステロール	L-Cho	65-139		mg/dL	いわゆる「悪玉コレステロール」高くなると動脈硬化症の原因となります。
トリグリセリド（中性脂肪）	TG	40-149	30-149	mg/dL	高くなると動脈硬化症の危険因子となります。
LDL-コレステロール （Friedewald式）	LDL （F式）	設定なし		mg/dL	LDLコレステロールの推算式です。中性脂肪が400mg/dL以下のときに適用される計算式です。
LDL-コレステロール （Sampson式）	LDL （S式）	設定なし		mg/dL	LDLコレステロールの推算式です。中性脂肪が800mg/dL以下のときに適用される計算式です。
Non-HDLコレステロール	Non-HDL	設定なし		mg/dL	総コレステロールからHDLを引いた値です。脂質異常症の診断に用いられます。
空腹血糖		73-109		mg/dL	糖尿病の基本的な検査です。
ヘモグロビンA1c （糖化ヘモグロビン）	HbA1c （NGSP）	4.6-6.2		%	糖尿病の診断に用いられます。過去1～3カ月の長期血糖コントロールの指標です。
グリコアルブミン （糖化アルブミン）	GA	11-16		%	過去1～2週間の血糖コントロールの指標です。
<b>心筋・心機能・筋疾患に関する検査</b>					
クレアチンキナーゼ	CK	59-248	41-153	U/L	骨格筋や心筋の破壊を反映して上昇します。
クレアチンキナーゼ （心筋型）	CK-MB	0-12		U/L	急性心筋梗塞などの心筋疾患の診断、経過の把握に有用です。
トロポニンT		0.014 以下		ng/mL	急性心筋梗塞などの心筋疾患の診断、経過の把握に有用です。
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント	NTProBNP	125 未満		pg/mL	心不全で上昇するマーカーです。

検査項目名	略称	基準範囲			説明
		男性	女性	単位	
<b>免疫に関する検査</b>					
C反応性蛋白	CRP	0.3 以下		mg/dL	炎症や組織破壊の指標です。
ロイシンリッチα2 グリオブリン	LRG	16 以下		μg/mL	潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸疾患で 上昇します。
可溶性インターロイキン-2 受容体	sIL-2R	204-587		U/mL	主にリンパ腫の病態モニタリングに 用いられます。
プロカルシトニン	PCT	0.05 未満		ng/mL	細菌感染すると上昇します。
リウマチ因子 (リウマトイド因子)	RF	15 以下		IU/mL	関節リウマチやその他自己免疫疾患で、 陽性になります。
マトリックスメタロ プロテイナーゼ-3	MMP3	36.9-121.0	17.3-59.7	ng/mL	関節リウマチの疾患活動性の評価、 骨・関節破壊の予後予測の指標です。
補体価	CH50	31.6-57.6		U/mL	自己免疫疾患・感染症の指標です。
免疫グロブリンG	IgG	870-1700		mg/dL	抗体（免疫グロブリン）で、主に感染防御に働 きます。
免疫グロブリンM	IgM	35-220		mg/dL	
免疫グロブリンA	IgA	110-410		mg/dL	
クリオグロブリン	/	陰性		/	異常タンパクの一種で、主にクリオグロブリン血 症（クリオフィブリノーゲン血症）や膠原病など の免疫疾患で検出されます。
クリオフィブリノーゲン	/	陰性		/	
<b>腫瘍マーカー検査</b>	腫瘍マーカーの結果だけで「がんがある」とは断定できません。				
α-フェトプロテイン	AFP	10.0 以下		ng/mL	主に肝がんで上昇します。
癌胎児性抗原	CEA	5.0 以下		ng/mL	主に胃や大腸などの消化器系のがんや 肺がんなどで上昇します。
CA19-9	/	37.0 以下		U/mL	主に膵臓や胆道系のがんで上昇します。
前立腺特異抗原	PSA	4.0 以下		ng/mL	前立腺がんで上昇します。
ガストリン放出ペプチド 前駆体	ProGRP	74.7 未満		pg/mL	神経内分泌腫瘍とくに肺小細胞癌で 上昇します。
神経特異エノラーゼ	NSE	16.3 以下		ng/mL	神経芽腫および網膜芽腫や肺小細胞癌で 上昇します。
扁平上皮癌関連抗原	SCC抗原	2.5 以下		ng/mL	各種臓器の扁平上皮癌の診断、治療効果、経過観 察のモニタリングとして有用です。

検査項目名	略称	基準範囲			説明
		男性	女性	単位	
<b>内分泌代謝に関する検査</b>					
甲状腺刺激ホルモン	TSH	0.500-5.000		μIU/mL	甲状腺ホルモンの異常がわかります。甲状腺機能亢進（バセドウ病）や機能低下（橋本病）などで異常値を示します。
遊離サイロキシン	FT4	0.90-1.70		ng/dL	
遊離トリヨードサイロニン	FT3	2.3-4.0		pg/mL	
副甲状腺ホルモン	PTH-intact	10-65		pg/mL	副甲状腺の機能を調べる項目です。カルシウムやリンの代謝に関与します。
ヒト絨毛性ゴナドトロピン	HCG	5.0 以下		mIU/mL	妊娠の早期確認、流産、子宮外妊娠や絨毛性疾患の診断、治療効果の指標となります。
プロゲステロン	/	0.2 以下	女性の場合は性周期により異なります。	ng/mL	黄体機能不全、妊娠初期の診断、切迫流産の予後判定、胎盤機能の指標などに有用です。
エストラジオール	E2	14.6-48.8		pg/mL	卵巣胎盤機能とくに卵胞発育の状態をよく反映します。
黄体形成ホルモン	LH	1.7-8.6		mIU/mL	LH、FSHは下垂体性腺刺激ホルモンとして共同で作用し、性腺機能異常の診断と評価に有用です。
卵胞刺激ホルモン	FSH	1.5-12.4		mIU/mL	
プロラクチン	/	4.29-13.69		ng/mL	女性の乳汁分泌異常、男性の性腺機能低下や視床下部・下垂体領域の疾患で異常値を示します。
成長ホルモン	GH	0.00-2.47	0.13-9.88	ng/mL	下垂体性小人症、末端肥大症の診断、治療効果判定など視床下部・下垂体機能の指標となります。
副腎皮質刺激ホルモン	ACTH	7.2-63.3		pg/mL	コルチゾールやアルドステロンなどの分泌を調節するホルモンです。
コルチゾール	/	7.1-19.6 (午前6-10時)		μg/dL	糖、脂質、タンパク質の代謝や血圧の調節に関わるホルモンです。
アルドステロン	/	10.4-142.3 (随時)		pg/mL	腎臓に作用し、体の水分量やナトリウム、カリウムの調節を行うホルモンです。
レニン濃度	/	3.2-36.3 (随時) 2.5-21.0 (臥位) 3.6-64.0 (立位)		pg/mL	血圧を上げるための手助けをする酵素です。

検査項目名	略称	基準範囲			説明
		男性	女性	単位	
感染症検査					
<b>B型肝炎に関する項目</b>					
HBs抗原	HBsAg	(-)		IU/mL	現在B型肝炎ウイルスに感染しているかがわかります。
HBs抗体	HBsAb	(-)		mIU/mL	過去にB型肝炎ウイルスに感染したことがあるか、またはB型肝炎ワクチンを接種したことがあるかがわかります。
HBc抗体	HBcAb	(-)		S/CO	過去にB型肝炎ウイルスに感染したことがあるかがわかります。
HBV核酸定量 (HBV DNA TaqMan PCR)	HBV Taq	検出せず		LogIU/mL	リアルタイムPCR法により高感度にB型肝炎ウイルスの量を調べ、治療効果を判定します。
<b>C型肝炎に関する項目</b>					
HCV抗体	/	(-)		S/CO	現在C型肝炎ウイルスに感染しているか、または過去にC型肝炎ウイルスに感染したことがあるかがわかります。
HCV核酸定量 (HCV TaqMan PCR)	HCV Taq	検出せず		LogIU/mL	リアルタイムPCR法により高感度にC型肝炎ウイルス量を調べ、治療効果を判定します。
<b>HIVに関する項目</b>					
HIV抗原抗体	HIV Ag/Ab	(-)			ヒト免疫不全ウイルスに感染しているかがわかります。
HIV核酸定量 (HIV-1 TaqMan PCR)	HIV-1 Taq	検出せず		copy/mL	リアルタイムPCR法により高感度にHIV-1のウイルス量を調べ、治療効果を判定します。
<b>梅毒に関する項目</b>					
RPR定性	/	(-)			梅毒に感染しているかがわかります。
RPR定量	/	1.0未満		R.U.	
TP抗体定性	TPAb定性	(-)			
TP抗体定量	TPAb定量	1.0未満		COI	
<b>新型コロナウイルスに関する項目</b>					
SARS-CoV-2抗原	CoV2Ag 判定	(-)			SARS-CoV-2に感染しているかがわかります。
	CoV2Ag (COI)	1.0未満		COI	

検査項目名	略称	基準範囲			説明
		男性	女性	単位	
血中薬物検査		薬の投与には個人差が伴います。そのため効果が最大限に発揮され、かつ副作用が出ない血中濃度を調べます。トラフとは投薬前の血中濃度のことです。			
カルバマゼピン		【トラフ】 4.0-12.0		μg/mL	抗てんかん薬です。
フェノバルビタール		【トラフ】 15.0-40.0		μg/mL	
フェニトイン		【トラフ】 10.0-20.0		μg/mL	
バルプロ酸ナトリウム		【トラフ】 50.0-100.0		μg/mL	
ジゴキシン		【トラフ】 0.50-1.50		ng/mL	強心剤です。
テオフィリン		【トラフ】 8.0-20.0		μg/mL	気管支拡張剤です。
バンコマイシン		【トラフ】 5-10 【ピーク】 20-40		ng/mL	抗生物質です。
テイコブラニン		【トラフ】 15-30		μg/mL	抗生物質です。
アセトアミノフェン		【トラフ】 5.0-20.0		μg/mL	解熱剤・鎮痛剤です。
シクロスポリン	シクロ	【トラフ】 50-200		ng/mL	免疫抑制剤です。
タクロリムス	タクロ	【トラフ】 5.0-20.0		ng/mL	
エベロリムス		【トラフ】 3.0-8.0		ng/mL	
メトトレキサート		中毒域 【24時間後】 10.0以上 【48時間後】 1.0以上 【72時間後】 0.1以上		μmol/L	抗がん剤・抗リウマチ薬です。